

主要農作物の生育・出荷状況

令和2年7月31日現在  
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p><b>【水稲】</b> ○6月下旬及び7月上旬は降雨が続いたが、気温が平年並み、また夜温が高く推移したため、平年並みの生育となった。幼穂形成期についても平年並み。 ○7月上、中旬はいもち病が発生しやすい気温、天候が続いており、葉いもち病が散見されている。</p> <p><b>【そば】</b> ○秋そばの播種準備が進められているが、梅雨が続き、播種作業は梅雨明け後となる。</p>
野菜	<p><b>【トマト】</b> ・梅雨らしい気象となり断続的な降雨、日照不足となった一方、夜温が高く推移した影響等から果実の着色が進み、平年並みの7/10より共選出荷開始となり、順調に出荷量が伸びており、単価も堅調である。 (7/10～7/19の出荷状況) (前年比、直近3か年比の順に記載) ・出荷量 (529%、183%)、金額 (549%、195%)、単価 (104%、106%) ・病害虫は、長引く梅雨の影響を受け、下位葉の病斑 (灰色かび病、葉かび病) が目立ってきている。また、細菌病 (かいよう病、茎えそ細菌病) の発生件数が昨年よりも多い。害虫は、アザミウマ類・タバコガ類が少発、コナジラミ類が見え始めた。</p> <p><b>【アスパラガス】</b> ・半促成栽培 前年より早い6月上旬 (前年6月中旬) より夏どりの出荷が開始した。 ・露地栽培 前年と同様の7月上旬より夏どりの出荷が開始した。 ・7/20現在 出荷量 前年比95%、金額 前年比83%、単価 前年比87% ・病害虫 アザミウマ類が前年に比べ増加しており、若茎の曲がりが発生している。また、ジュウシホシクビナガハムシ (ハムシ)、ハダニ類が発生している。</p>
花き	<p><b>【リンドウ】</b> ・西部地区 (7月15日現在) 早生品種 草丈122.3cm (平年比 98%)、節数22.3 (平年比99%) 彼岸品種 草丈126.8cm (平年比 94%)、節数25.6 (平年比101%) ・リンドウ草丈、節数については、平年並みだが、開花については、平年より7日程度早く、7/26 リンドウ出荷量 459 c s 昨年度より155 c s 多い。 ・東部地区 (7月15日現在) 早生品種 草丈112.6cm (平年比114%)、節数24.7 (平年比110%) 彼岸品種 草丈104.5cm (平年比111%)、節数27.0 (平年比108%) 葉枯病、ハダニ類が少発生。</p> <p><b>【カスミソウ】</b> 据え置き株の出荷は一段落し、新植株の定植、栽培管理が進められている。 据え置き株と新植株の出荷端境期。 7/27現在 出荷量110 c s 単価 67円 (全規格平均) 昨年より1割低い。</p>

果 樹	<p><b>【リンゴ】</b> ○「ふじ」（南会津中荒井地区）の果実肥大状況は7月15日現在、縦径および横径が平年比で98%、103%と平年並みで推移している</p> <p>○7/10が仕上げ摘果終了の目安となっているが、一部の生産者は作業に遅れがみられる。</p>
畜 産	<p><b>【飼料作物】</b> 永年性牧草2番草の生育は良好で収穫適期になっているが、降雨の影響により収穫に入れない草地がある。</p>